第3学年1組　算数科　単元学習プラン

児童数　23名　　授業者　池田　雄大

1　単元名　　数の表し方やしくみを調べよう

2　単元の目標

（1）端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解したり、小数第一位までの加減法の計算をしたりすることができる。　【(5)-ア(ア)(イ)】(知識及び技能)

（2）小数の表し方や仕組み、計算方法について、整数の十進構造と関連付けて考えることができる。　【(5)-イ(ア)】(思考力、判断力、表現力等)

（3）小数の表し方や仕組み、計算方法について、既習の数直線や1Lます図を用いたり、友達と考えを伝え合ったりしながら粘り強く考えている。

3　子どもが働かせる見方・考え方　　○基準(1とすると)

4　単元構成(単元計画(全12時間) 本時 7/12)

主な学習活動【□】		子どもの考え(A児を中心に)【○】
集団追求過程	□整数で表せない端数部分の表し方について、生活経験や既習を想起して考え、学習の見通しをもつ。(1h)	○数字に「.」がついているのは見た時がある。この前身長を測ったら○.○センチメートルだった。体温計にも「.」がついているな。 ○1Lより少ない量をLで表すにはどうしたらいいのだろう。「.」で表すと思うけどどうやって使うのかな。1dLが10こ集まると1Lだった。1mmも1cmを10この同じ長さに分けたものだったから、10こに分けるといいのかな。
集団追求過程	□1より小さい数の表し方や小数のしくみについて考える。(5h)	○0.1が何こ分あるかで表す方法は、「0.1を1とする」という考え方だな。 ○いろいろな単位を使わないで、Lだけで表せるとわかりやすいな。 ○「大きい数のしくみ」で使った数直線で小数を表すと、大きさがわかりやすいな。 ○小数第一位には0～9までの数字が入るのか。整数の位と同じだな。もっと下の位もありそうだから調べてみよう。
個別追求過程	本時の目標　小数第一位どうしの小数の加法計算の仕方について、小数の仕組み(基準)に着目して考え、説明することができる。	
	■小数の加減法計算の仕方について考える。(本時1/5h)	1　0.3＋0.2の計算の仕方について考える。 ○図で表してみよう。ジュースだから、前に使った1Lます図がよさそうだな。 ○答えは求めることができた。自分の考えの着目ポイントがよくわからないから、友達の着目ポイントを聞いてみよう。「～を1とする」に着目して、0.1の何こ分かで考えたのか。なるほど、それなら300＋200の計算と同じように考えられるな。どちらも3＋2の計算だ。
	□小数についての多様な見方や表し方について考える。	2　解いた問題を発展させる。 ○1.3＋1.2はできるかな。1.3は0.1が13こ分、1.2は0.1が12こ分だから足すと0.1が25こになる。 ○「～を1とする」の考えを使うとひき算もできそうだな。
	□たしかめの問題を解き、自分の学習の理解度を確かめる。(5h)	○小数のたし算の筆算はどうやるのだろう。整数のときは同じ位どうしを計算したな。小数も同じようにできるかな。 ○小数の筆算は、0.1を1として考えると整数と同じように考えられる。0をつけたり消したりするのを忘れないように気を付けよう。 ○2.8は2と0.8を合わせた数と見ることができる。友達は式と数直線で表しているのか。自分もやってみよう。
集団追求過程	□単元全体を通して、学んだことや自分の学び方について振り返る。(1h)	○小数の計算は初めてだったけど、整数と同じように考えたら計算できた。「～を1とする」の考えはいろいろな場面で使えるな。 ○0.1が10こ集まると1になって位が1つ上がるというのは、整数のときと同じだ。もっと下の位や上の位もありそうだけど、仕組みはきっと同じだな。